

# 松浦商工会議所

## 中期ビジョン（2014.4～2017.3）

### I 基本理念

未来の宝ものつくり  
～挑戦する 松浦商工会議所～

### II 行動指針

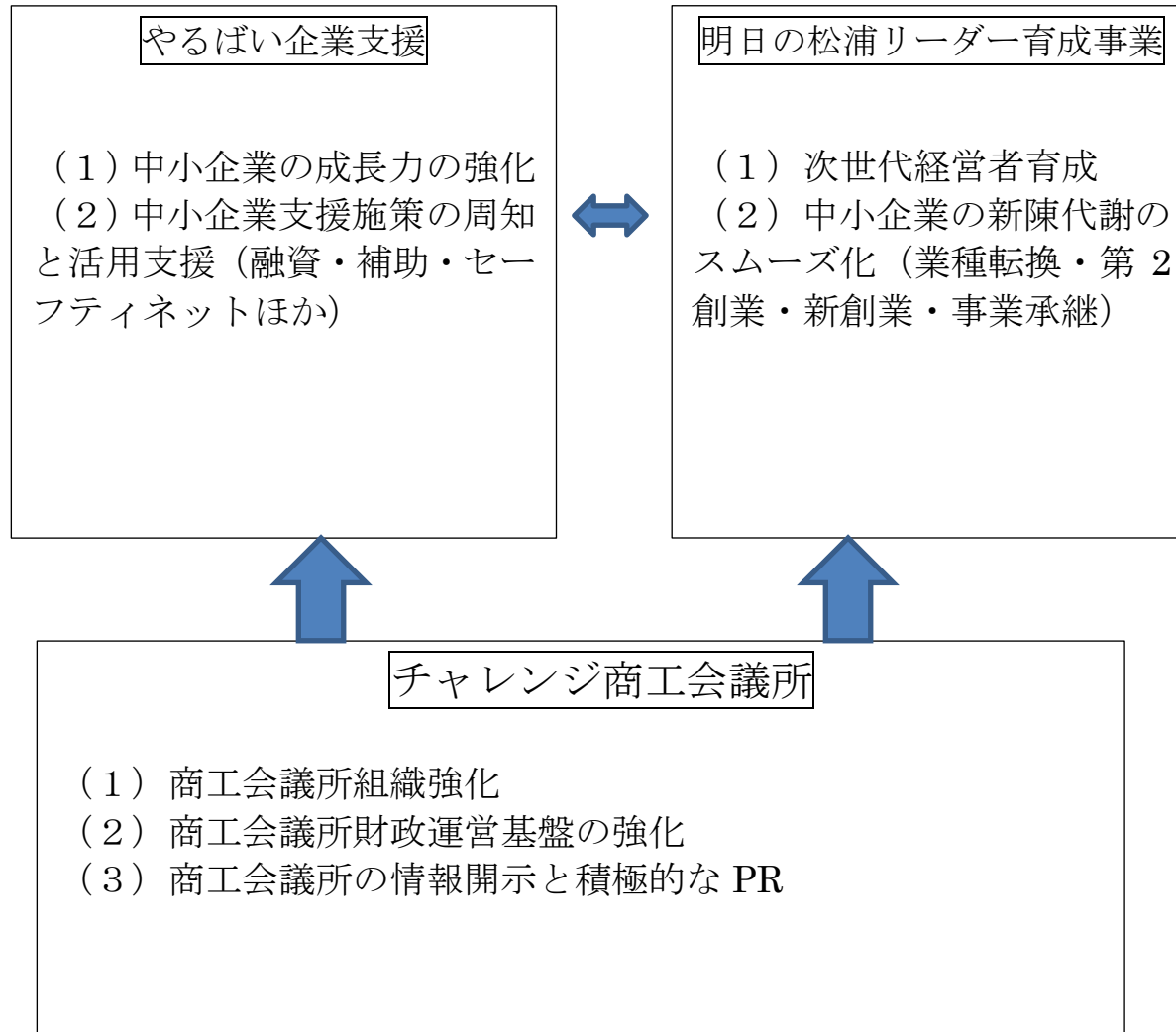
- 1) 役員・議員・一般会員が積極的に参画できる組織改編
- 2) 経済団体として、発言力がある組織体質強化
- 3) 外貨を獲得し、内需を拡大する施策強化及び人財育成
- 4) 中小企業が育つ松浦の土壌創り
- 5) ニュービジネスが創出する事業の展開



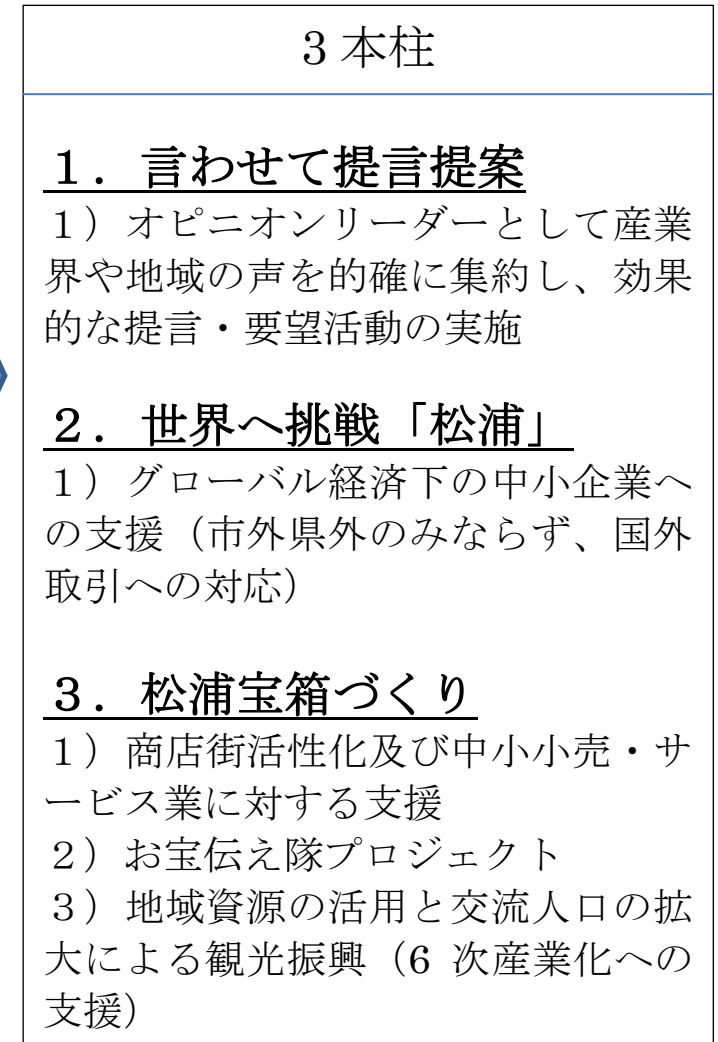
### Ⅲ. 基本理念・行動指針に基づく事業の展開！

基本理念・行動指針を踏まえ、中期行動計画の最終年度（2017年度）のあるべき姿とその実現に向け取り組むべき事業の展開について、次の軸を基に重点項目を示すものである。

#### I 組織・人づくり行動計画



#### Ⅱ 環境づくり行動計画



# I 組織・人づくり行動計画

## 1. チャレンジ商工会議所

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
(1) 商工会議所の組織強化	<p>会員の自主運営活動の場が支部中心となっており、本来あるべき部会・委員会活動がほとんどなされていない。議員活動に関しても、特に一般議員の活躍する場が、年2回の総会及び、議員大会のみであり、会議所議員としての充足感を得ることが難しく思われる。</p> <p>また、職員業務の現状は外部委託事業の事務請負や会員がすべき業務まで引き受けている場面も多く、本来すべきである、経営指導等などのきめ細やかな会員サービスが十分に出来ていない。</p> <p>①環境づくり行動計画を遂行するための組織体系構築 ②業務内容の見直し（本来業務へのシフト） ③効率の良い事務局機能構築（無駄の排除）</p>	<p>★将来ビジョン</p> <p>会員から信頼される商工会議所となっている</p>	●運営組織委員会の設置
(2) 商工会議所の財政・運営基盤の強化	<p>補助金削減・議員数定数割れ・会員数減少など今後商工会議所の運営基盤が弱体化してくるものと予測されている。これは、事業予算削減及び職員数減少などの対策を取らざるを得なくなり、運営そのものの健全化が損なわれる恐れがある</p> <p>①会員増強 ②議員定数の確保 ③収益事業の強化</p>		●収益事業委員会の設置
(3) 商工会議所の情報開示と積極的なPR活動	<p>商工会議所は会員だけでなく、市民も含め多くの方が利害関係者であるが、市民のみならず会員からも、「開かれた商工会議所」として認知されているとは言い難い。</p> <p>①積極的な情報開示 ②会議所活動、有用性を、会員・市民に理解いただく</p>		●情報活動の強化

## 2. やるばい企業支援

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
(1) 中小企業の成長力の強化	<p>現在の活動は、主に小規模事業者向けのサポート事業が中心であり、中規模クラス以上の企業向けのビジネス支援拠点としては確立されているとは言えない。また相談案件も多くはない。がんばる中小企業をワンストップで支援していくためにも、高度なそして頼れる経営支援体制の構築が必要である</p> <p>①ワンストップ総合支援窓口の設置（専門家派遣等） ②会員企業情報及び企業が求める情報の把握 ③有益な情報の提供強化</p>	<p>★<u>将来ビジョン</u> 中小企業への支援体制が整っている</p> <p>☆<u>3年後ビジョン</u> 「やるばい窓口」の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営改善普及事業充実</li> <li>●専門家派遣事業利用促進</li> <li>●年間計画に基づくセミナー・講習会の開催</li> <li>●人材確保の為、市内企業での共同求人会開催</li> </ul>
(2) 中小企業支援施策の周知と活用支援（融資・補助・セーフティネットほか）	<p>当所には、国・県・市・日商をはじめ様々な有益な情報が集まってくる。しかし、情報処理に対する対応（処理時間も含め）が弱く、会員事業所への的確な情報伝達できていない。また、情報伝達手段も場当たりの状況である。</p> <p>①) 各企業（各業種）が欲する情報の整理 ②) 情報提供方法の標準化 ③) 職員の情報処理能力向上（取捨選択能力）</p>	<p>★<u>将来ビジョン</u> 総合金融支援窓口が機能している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期会報発行</li> <li>●役立つHPへの改善</li> <li>●効果的な情報提供方法の構築</li> <li>●松浦商工会議所会員のリクルートブックの製作</li> </ul>

### 3. 明日のリーダー育成

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
(1)次世代経営者育成	<p>企業を取り巻く環境はますます厳しくなり、過去の経験上で未来を予測することが困難な時代を迎えており、経営者には経営に関する諸知識は勿論のこと、高い倫理観や、物事の本質を考え抜き将来を見通す力、そして困難な状況に立ち向かう強い意志など、様々な要件を兼ね備えた人材が求められている。</p> <p>しかし、これらの要件を全て兼ね備えた人材は、ただ漫然と実務経験を積み重ねるだけで育成できるものではなく、長期的な視点から次世代経営者育成システムを構築し、継続的に取り組みを続けることが求められている。現状を鑑みると、次代を担うであろう青年部の部員数も非常に少ない状況（平成26年2月現在17名）であり、県内青年部員数と比較しても、突出して少ない状況といえる。</p> <p>また、若手の女性の力が発揮する機会も少なく、素晴らしい能力を持った女性の力がうずもれている状況である。</p> <p>①松浦商工会議所青年部員増強 ②若手女性の力を発揮できる機会の創出</p>	<p>★<u>将来ビジョン</u> 長期的な経営者育成システムが構築されている</p> <p>将来の松浦を支える人づくり</p>	<p>●松浦高校に水産関連学課を新設する。</p> <p>●市内の小中高生に対しての企業によるセミナー開催（市内企業の協力体制）</p> <p>●松浦未来づくりセミナー</p> <p>●企業からの青年部増強の協力</p>
(2)中小企業の新陳代謝のスムーズ化(業種転換・第2創業・新創業・事業承継)	<p>当所の会員数減の要因は、廃業による脱退が9割以上を占める。一方、加入状況を見ると、新規開業による加入が極めて少ない状況である。</p> <p>今後ますます、廃業数&gt;開業数の負の関係性が強まると、域内企業の生産性が著しく弱まってくるものと懸念される。また、既存企業においても後継者不在問題や時代に合わない経営スタイル（業種・業態など）による経営悪化など、ますます個店力が弱まっていくと予想される。</p> <p>①起業者の創出 ②スムーズな事業承継 ③経営多角化・業種転換へのサポート （法律、世界・国内経済を見て生存領域を提案） ④起業しやすい環境づくり （進出しやすい経営環境づくりの要望など）</p>	<p>新たな事業者が松浦で創業している。</p>	<p>●チャレンジショップ事業 ●個別創業支援（経営・金融・税務他） ●創業セミナー開催</p>

## Ⅱ 環境づくり行動計画

### 1. 言わせて提言提案

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
(1) オピニオンリーダーとして産業界や地域の声を的確に集約し、効果的な提言・要望活動の実施	<p>当所における行政等への要望陳情活動件数は非常に少ないといえる。また、一般会員事業所からの声も拾い上げる場もほとんど提供できていない。</p> <p>松浦市の経営環境（情報インフラ、駐車場、交通インフラ、街並み全般）をみても、経営活動を進めるにあたって、整備すべき事項が山積している。</p> <p>① 一般会員事業所からの意見を吸い上げる場の提供（積極的な部会・委員会活動の実施） ② 産業構造や経済環境の実態を詳しく把握し、問題点を的確にとらえる（調査分析）</p>	<p>★<u>将来ビジョン</u> 商工会議所がまちづくりリーダーとなっている</p> <p>☆<u>3年後ビジョン</u> 行政に対し、毎年積極的な提言を行っている</p>	<p>● 提言部会の設立（一般会員からの要望集約） ● 行政とのビジョン交流事業の定例化</p>

### 2. 世界へ挑戦「松浦」

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
(1) グローバル経済下の中小企業への支援（市外県外のみならず、国外取引への対応）	<p>市外県外のみならず国外も含めたグローバル化の波は地方都市にも影響を及ぼし、中小企業においても海外進出や海外取引が進んでいる。また、国内需要に照準を絞った企業であっても、世界経済の影響を少なからず受けている。</p> <p>当市においても、特に製造業では国内全域及び海外取引を行う企業も存在してはいるものの、市全体では活発な取引状況とは言えない。</p> <p>① グローバル経済を考える機会の提供 ② 域外市場（国内外）との取引支援（企業マッチング、展示会等への積極的案内）</p>	<p>★<u>将来ビジョン</u> グローバル企業が成長を遂げている</p> <p>☆<u>3年後ビジョン</u> グローバル企業の確立及び育成を行っている</p>	<p>● 福岡商工会議所個別商談会開催案内 ● 国際取引情報の提供 ● グローバル経営セミナーの開催</p>

### 3. 松浦宝箱づくり

重点項目	現状・課題	将来ビジョン (3年後ビジョン)	取り組む事業
<p>(1) 商店街活性化及び中小小売・サービス業に対する支援</p>	<p>消費者ニーズ多様化、価格中心型の購買決定志向などの影響により、商店街店舗の業績は低迷を続けている。</p> <p>廃業（閉鎖）店舗においては、空店舗のまま残るのではなく、住居へと切り替わり、店舗集積地としての商店街機能を維持するのが困難になってきている。このような影響もあり、商店街離れに拍車がかかり、高齢者や子供が歩かない商店街へとその様を呈している。</p> <p>商店街活動に至っては、以前のように店舗を離れて実施するイベント等への協力人員も得ることが難しく、さらには直接営業効果が望めない一過性のイベント等への参加意欲も薄れはじめている。</p> <p>①魅力ある店舗づくり（個店力向上） ②革新的な経営への挑戦 （新たな事業領域の展開提供） ③業績向上につながる商店街活動の実施 ④中心市街地活性化の施策 ⑤集客効果のある事業の推進</p>	<p>★将来ビジョン</p> <p>多くの会員事業所が、革新的な経営の挑戦を行っている。</p> <p>①まちなか店舗が魅力的な店づくりに挑戦している ②新たな集客ゾーンが出来上がっている</p>	<p>●個店経営研修事業 ●朝トラ事業 ●まちなか活性化事業 （志佐・今福） ●指導業務 ●専門家派遣事業 ●西九州道松浦サービス ステーション設置運動</p>
<p>(2) 宝伝え隊プロジェクト</p>	<p>当市においては、今後ますます高齢化率が高まり、少子化に一層拍車がかかると予測されている。よって、この現実を見据えた経営戦略が必要といえる。</p> <p>①高齢者向けのビジネスモデルの提案 ②豊富な技術・ノウハウを持った即戦力となる高齢者労働力を活かすビジネススタイルの提案 ③各種助成金の活用（特に高齢者雇用等）</p>	<p>★将来ビジョン</p> <p>シルバービジネスが効果的に実践されている</p>	<p>●シルバービジネス講演会等の開催 ●高度技術者のUターンIターン推進事業</p>

<p>(3) 地域資源の活用と交流人口の拡大による観光振興 (6次産業化への支援)</p>	<p>松浦市においては、豊富な一次産品を数多く有しており、品質的にみても全国に誇れるレベルである。また、観光面に関しては、歴史遺産・グルメなど外貨獲得に期待が持てる資産を多数保有している。</p> <p>松浦市役所においても、平成24年に一般社団法人まつうら観光物産協会を設立し、担当部局とともに観光面、物産面において一定の成果を出してはいるものの、まだまだ会員企業等も含め一丸となった形で機能しているとは言い難い。その大きな要因としては、積極的な広報活動に対して、受け入れ側、供給者側の消極的な対応が感じ取れる。</p> <p>よって、当所においては、特に受け入れ側（供給側）のスキルアップ支援や、一次産業者の2次・3次産業への展開支援、農商工連携による6次産業化支援について積極的な働きかけが必要といえる。</p> <p>①観光客受け入れ態勢強化（おもてなし強化）  ②競争力を持った商品づくり及び販路マッチング  ③産業間連携強化（6次産業化支援、異業種交流）</p>	<p><u>★将来ビジョン</u>  地域資源がより一層活用され、6次産業化事業が広く取り組まれている。  松浦特産専門店が完成している（ステージが完成）</p> <p><u>☆3年後ビジョン</u>  ・松浦ブランド特産品が100品目完成</p> <p>・各種物産展において松浦エリアゾーンとして取り扱われている</p> <p>・松浦の歴史を生かした観光ビジネスが生まれている。</p>	<p>●お3時プロジェクト  ●海鮮街道事業  ●松浦商工会議所地域ブランド推奨品認定制度の実施</p> <p>●歴史を生かした商品創りの実施</p>
---	---	--	---